

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 5 部門第 1 区分

【発行日】平成21年4月23日 (2009.4.23)

【公表番号】特表2002-540340(P2002-540340A)

【公表日】平成14年11月26日 (2002.11.26)

【出願番号】特願2000-606890(P2000-606890)

【国際特許分類】

F 0 2 K 9/50 (2006.01)

F 0 2 K 9/48 (2006.01)

F 0 2 K 9/52 (2006.01)

F 0 2 K 9/56 (2006.01)

F 0 2 K 9/60 (2006.01)

F 0 2 K 9/62 (2006.01)

F 0 2 K 9/64 (2006.01)

F 0 2 K 9/97 (2006.01)

【 F I 】

F 0 2 K 9/50

F 0 2 K 9/48

F 0 2 K 9/52

F 0 2 K 9/56

F 0 2 K 9/60

F 0 2 K 9/62

F 0 2 K 9/64

F 0 2 K 9/97

【誤訳訂正書】

【提出日】平成21年2月26日 (2009.2.26)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 3 0

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【 0 0 3 0 】

予備燃焼器 3 4 内の、シャフト 4 4、特に第 2 の中空シャフト部 4 8 に結合された第 1 の回転噴射器 7 6 は、注入口 8 0 および予備燃焼器 3 4 と流通している少なくとも 1 つの第 1 のロータリーオリフィス 7 8 を具備する。注入口 8 0 は、第 1 の中空シャフト部 4 6 の内部 8 2 および第 2 の中空シャフト部 4 8 の内部 6 2 内の関連する流路 (fluid path) を通して液体酸素 1 8 を供給する酸素スクロール 2 6 と流通する。第 1 のロータリーオリフィス 7 8 はシャフト 4 4 とともに、シャフト 4 4 の軸 1 6 を中心に回転する。第 1 の回転噴射器 7 6 は、注入口 9 0 および出口 9 2 を有する第 1 の流路 8 8 を含む少なくとも 1 つの第 1 の回転圧力トラップ 8 6 をさらに備え、かかる注入口 9 0 および出口 9 2 は第 1 の流路 8 8 にわたってその長さ方向に流通している。この第 1 の流路 8 8 は回転軸 1 6 を中心に回転されると、第 1 の流路 8 8 内のどの点における遠心加速度も、その注入口 9 0 または出口 9 2 の何れにおける遠心加速度を上回るよう構成される。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 3 6

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【 0 0 3 6 】

液体水素の主要の流れは、回転環状ダクト 1 2 4 から、予燃焼器 3 4 内のシャフト 4 4 に、特に第 2 の中空シャフト部 4 8 に結合された第 2 のロータリー噴射装置 1 4 2 へ外向きに供給される。第 2 のロータリー噴射装置 1 4 2 は、環状ダクト 1 2 4 および予燃焼室 3 4 と流通している少なくとも 1 つの第 2 のロータリーオリフィス 1 4 4 を備える。第 2 のロータリーオリフィス 1 4 4 は、その回転軸 1 6 を中心にシャフト 4 4 とともに回転する。第 2 のロータリー噴射装置 1 4 2 はさらに、少なくとも 1 つの第 2 の回転圧力トラップ 1 4 6 を備えており、この第 2 の回転圧力トラップ 1 4 6 は、第 2 の流路の長さ方向に沿って第 2 の流路で流通している注入口 1 5 0 および排出口 1 5 2 を有する第 2 の流路 1 4 8 を備える。第 2 の流路 1 4 8 は、回転軸 1 6 を中心に回転した際に、第 2 の流路 1 4 8 内のどの地点における遠心加速度も、注入口 1 5 0 または排出口 1 5 2 の何れにおける遠心加速度よりも大きくなるように適合される。図 2 a、図 3、および図 6 を参照すると、各第 2 の回転圧力トラップ 1 4 6 の各排出口 1 5 2 は、環状マニホールド 1 5 4 と流通しており、この環状マニホールド 1 5 4 は、複数の放射状ベーン 1 5 8 によって複数の放射状室 1 6 0 に分割された環状室 1 5 6 と流通しており、その放射状室 1 6 0 の少なくともいくつかは、それぞれ第 2 のロータリーオリフィス 1 4 4 へ解放される。

【 誤訳訂正 3 】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 3 9

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【 0 0 3 9 】

第 2 の中空シャフト部 4 8 はさらに、それぞれ第 2 の中空シャフト部 4 8 の第 1 の端 1 6 8 および第 2 の端 1 7 0 に近接している閉端 1 6 4 および第 2 の端 1 6 6 を有するシャフト・ライナ 1 6 2 を備えており、シャフト・ライナ 1 6 2 の閉端 1 6 4 は、第 3 の回転圧力トラップ 1 7 4 の境界部 1 7 2 を形成するように成形されている。第 3 の回転圧力トラップ 1 7 4 は、第 3 の流路の長さ方向に沿って第 3 の流路で流通している注入口 1 7 8 および排出口 1 8 0 を有する第 3 の流路 1 7 6 を備える。第 3 の流路 1 7 6 は境界部 1 7 2 によって、回転軸 1 6 を中心に回転した際に、第 3 の流路 1 7 6 内のどの地点における遠心加速度も、注入口 1 7 8 または排出口 1 8 0 のいずれにおける遠心加速度よりも大きくなるように適合されている。

【 誤訳訂正 4 】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 4 2

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【 0 0 4 2 】

本明細書に参照により援用される、米国特許第 4 , 8 7 0 , 8 2 5 号の技術によれば、回転圧力トラップは注入口および排出口を有する流路を備え、流路は、回転圧力トラップが回転した際に、流路内のどの点における遠心加速度も、注入口または排出口の何れの地点における遠心加速度よりも大きくなるように適合されている。したがって、流路が、かかる液体のような比較的高い濃度の媒体で満たされる場合、注入口および排出口の放射レベルは、その間に圧力差がない場合と等しく、そうでない場合には、圧力差および回転速度の大きさに依存している量だけ等しくないであろう。したがって、排出口で比較的高い圧力領域に供給する回転圧力トラップの注入口へ比較的低い圧力の液体供給がある場合には、回転圧力トラップは、蒸気がそこを通過して逆流することを防止することができる。